

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

設定日：2010年12月9日
 収益分配：決算日毎

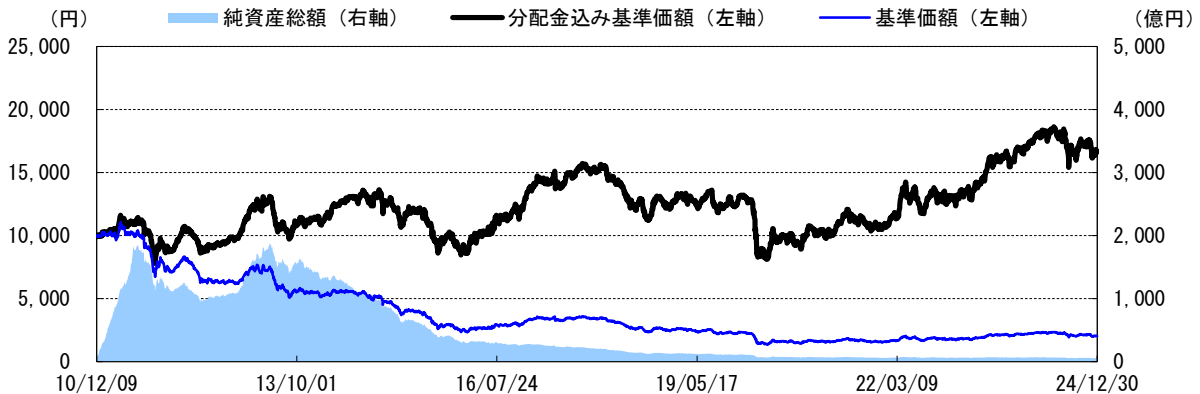
償還日：2028年8月18日
 基準価額：2,030円

決算日：原則毎月20日
 純資産総額：54.78億円

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
 信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

<投資先投資信託証券の比率>

EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス	99.9%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

※上記の数値は投資先投資信託証券の総額に対する比率です。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-1.83%	-2.60%	-6.99%	-1.90%	54.58%	66.00%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	2,078円		
当月お支払いした分配金	-10円		
要因	債券要因	インカムゲイン	12円
		キャピタルゲイン	-13円
	為替要因		-33円
	その他（信託報酬等）		-4円
当月末基準価額	2,030円		

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	24・1・22	24・2・20	24・3・21	24・4・22	24・5・20
9,645円	120円	10円	10円	10円	10円	10円
	24・6・20	24・7・22	24・8・20	24・9・20	24・10・21	24・11・20
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

<ご参考>

為替取引によるプレミアム/コスト	8.32%	最終利回り	8.01%
------------------	-------	-------	-------

※為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。信頼できると判断されたデータで算出された理論上のものであり、実際の運用における数値とは異なります。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラストのポートフォリオの内容

※RBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドより提供された情報です。
※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<国別構成比>

トルコ	13.6%
ブラジル	10.9%
メキシコ	9.4%
マカオ	7.5%
コロンビア	7.1%
アルゼンチン	3.9%
インド	3.8%
チリ	3.4%
ナイジェリア	3.1%
ウクライナ	2.4%
モロッコ	2.1%
グアテマラ	2.1%
南アフリカ	2.1%
香港	2.0%
ザンビア	1.9%
ジャマイカ	1.4%
ガーナ	1.3%
ルクセンブルク	1.2%
中国	1.2%
コンゴ共和国	1.2%
ペルー	1.2%
タイ	1.0%
パナマ	1.0%
カタール	0.8%
インドネシア	0.7%
クウェート	0.7%
パラグアイ	0.7%
ハンガリー	0.6%
ドミニカ	0.6%
モーリシャス	0.6%
モルドバ	0.6%
イスラエル	0.5%
米国	0.5%

<債券組入比率>

債券	90.8%
----	-------

<地域別構成比>

アフリカ/中東	14.2%
アジア	14.9%
東欧	17.2%
中南米	39.8%
その他	4.8%

<格付別構成比>

AAA	0.0%
AA	0.0%
A	0.3%
BBB	6.9%
BB	38.7%
B	27.2%
CCC以下	9.0%
無格付	8.8%

※上記格付は、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付であり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<業種別構成比>

金融	23.3%
消費財	17.6%
エネルギー	14.8%
素材	12.3%
通信	8.6%
工業	8.4%
公益	5.0%
その他	0.9%

<ポートフォリオの特性値>

最終利回り	8.01%
直接利回り	7.23%
デュレーション	4.00年
平均格付	BB

※利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラストのポートフォリオの内容

※RBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドより提供された情報です。
※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<組入上位10銘柄>（組入銘柄数：127銘柄）

	銘柄	国名	業種	比率	銘柄解説
1	SAMMIN 9 06/31 REGS サマルコ・ミネラサオ	ブラジル	素材	2.8%	鉄鉱石加工会社。溶鉱炉、直接還元、シンターフィード、低量および普通量のシリカのペレットを提供する。世界各地で事業を展開。
2	OCPMR 7 1/2 05/54 REGS OCP	モロッコ	素材	2.1%	化学品メーカー。リン酸、肥料、飼料、リン鉱石製品を製造、輸出する。世界各地で事業を展開。
3	PEMEX 6.95 01/28/60 メキシコ石油公社	メキシコ	エネルギー	1.8%	石油・ガス会社。石油およびガスの探鉱、生産に従事。パイプライン輸送、石油化学品販売・輸送センター、物流、および燃料商業化サービスを手掛ける。メキシコで事業を展開。
4	BANORT 8 3/4 05/35 PERP REGS バンコ・メンカンチル・デル・ノルテ	メキシコ	金融	1.7%	モンテレーとメキシコシティに本社を置くメキシコの銀行および金融サービス持株会社。
5	LTMCI 7 7/8 04/30 REGS ラタム・エアラインズ・グループ	チリ	消費財	1.7%	航空会社。国内・海外への旅客輸送サービスおよび貨物サービスを提供する。中南米、欧州、米国、カリブ海地域で事業を展開。
6	AVIAGP 9 12/28 REGS アビアンカ・グループ・インターナショナル・リミテッド	コロンビア	消費財	1.7%	登記上の本社は英国ながらも、南米地域中心に展開をしている航空持株会社。
7	MPEL 5 3/8 12/29 REGS メルコ・クラウン・エンターテインメント	マカオ	消費財	1.6%	マカオでカジノ事業を展開している6社のうちの1社である。マカオで3つのカジノとスロットクラブを経営している。
8	METINV 7.65 10/27 REGS メットインベスト	ウクライナ	素材	1.5%	多国籍の鉱業及び鉄鋼業を営むグループ会社。ウクライナ及び独立国家共同体を中心に事業展開を行っている。
9	TCZIRA 8.9941 08/34 REGS トルコ農業銀行	トルコ	金融	1.5%	銀行。普通預金、個人・事業ローン、クレジットカード、デビットカード、外国貿易、および資金管理サービスを提供する。トルコで事業を展開。
10	MVFP50 6.748 06/34 REGS MV24キャピタル	ブラジル	工業	1.5%	エネルギー関連会社。石油・ガス業界向けに浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備サービスを提供する。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

運用コメント

◎運用概況

当月は、米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢転換への懸念が米国金利の上昇や株式市場の下落を招く中、リスク資産は年末にかけて弱含む形となりました。新興国ハイ・イールド社債は、米金利上昇の影響を受けてマイナス・リターンとなったものの、相対的な金利感応度の低さが下落幅の抑制に寄与しました。

個別国の話題を見ると、中国では、新たな国内向けの政策支援期待や金融政策での方針が株式市場の下支えとなりました。2025年の方針として中国政府は、経済成長支援のために「適度に緩和的」な金融政策を実施することを決定しました。ブラジルでは、財政規律の欠如に対する懸念から同国資産の価格変動性が高まりました。一方、同中銀は通貨安に歯止めをかけようと積極的な利上げと為替介入を行い、市場の安定化を目指しました。

為替市場では、日本円に対してブラジル・リアルは下落しました。

当月のファンドの騰落率はマイナスとなりました。ファンドにおいては、業種別では金融セクターの投資比率を高くした一方で、エネルギーセクターの投資比率を低くしました。国別ではトルコとメキシコの投資比率を高くした一方で、チリの投資比率を低くしました。

◎今後の見通し

2024年は、新興国にとって記録的な選挙イヤーであったことや、経済・金融政策の方針転換、地政学的緊張が市場の変動性を高めたものの、新興国社債市場は他の債券資産と比較して堅調に推移しました。2025年を見渡すと、短期的にトランプ次期米大統領がもたらす貿易政策や財政問題の優先度、地政学的戦略における変化による影響が不透明であるものの、利回りの高さやファンダメンタルズの強さ、相対的に魅力的なバリュエーションなどの構造的なテーマが、新興国債券の下支えになると考えています。

新興国社債市場に関しては、2022年と2023年にデフォルト率が加速した後、企業の債務状況は大きく改善し、2025年もデフォルト率は低位で推移する見通しとなっています。一方で、外部環境の変化によりセクターや銘柄間のパフォーマンスにおいて格差が広がると見ています。このような環境においては、ファンダメンタルズ分析に基づいた確信度の高い、流動性の高い銘柄への選別した投資が重要になると考えています。市場を取り巻く状況を注視した運用を継続いたします。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方等を記載したもので今後の運用方針は変更される場合があります。将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

ご参考情報

ブラジルレアルの為替(対円レート)の推移



※2021年12月末を100として指数化しています。

※上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)

設定日：2010年12月9日

償還日：2028年8月18日

決算日：原則2月20日、8月20日

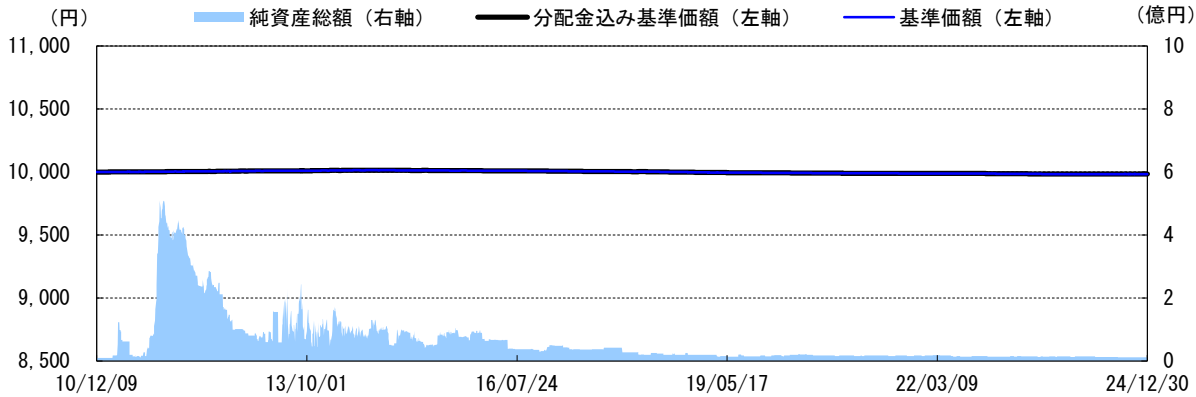
収益分配：決算日毎

基準価額：9,984円

純資産総額：0.11億円

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 <基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比率>

債券	61.5%
うち先物	0.0%
現金その他	38.5%

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
0.00%	-0.01%	0.01%	0.01%	-0.05%	-0.16%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近5期計	22・8・22	23・2・20	23・8・21	24・2・20	24・8・20
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

ファンドの特色

1. 主として、新興国のハイ・イールド社債に投資します。

・当ファンドは、RBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッド*1が運用する外国投資信託「EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」を通じて実質的に新興国のハイ・イールド社債に投資します*2。

*1 ブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーはRBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドに統合され、商号変更しました。

*2 上記の外国投資信託は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。

2. 「ブラジルリアルコース」およびスイッチング専用の「マネープールファンド」があります。

※「マネープールファンド」はスイッチング専用のファンドであり、直接購入いただくことはできません。

※「ブラジルリアルコース」と「マネープールファンド」の間でスイッチングが可能です。

*販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

・利子収入や値上がり益などを原資として、毎決算時に安定した収益分配を行なうことをめざします。

・毎月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド)

ファンドの特色

「マネー・アカウント・マザーファンド」ならびにわが国の国債および格付の高い公社債などに投資を行ない、安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

・主に、「マネー・アカウント・マザーファンド」ならびにわが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、毎年2月と8月の各20日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行なうことをめざします。

※ファンド残高と比較して大きな金額の設定解約があった際などに、ファンド会計上の都合により、基準価額が変動する場合があります。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

※「マネープールファンド」はスイッチング専用のファンドであり、直接購入いただくことはできません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	<ブラジルリアルコース> 追加型投信／海外／債券 <マネーボールファンド> 追加型投信／国内／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額 申込締切時間	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 <ブラジルリアルコース> 原則として、販売会社の営業日の午後3時30分までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。ただし、「マネーボールファンド」とのスイッチングを伴う申込みについては、原則、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。 <マネーボールファンド> 原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。 ※販売会社によっては異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2028年8月18日まで(2010年12月9日設定)
決算日	<ブラジルリアルコース> 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) <マネーボールファンド> 毎年2月20日、8月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	<ブラジルリアルコース> 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <マネーボールファンド> 毎決算時に、分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額 購入・換金申込不可日	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 <ブラジルリアルコース> 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ロンドンの銀行休業日・ニューヨークの銀行休業日・12月24日 <マネーボールファンド> スイッチングを伴う購入・換金の申込みについて、スイッチング対象である上記コースの購入・換金申込不可日には受付を行ないません。 *スイッチングを伴わない換金の申込みについては、販売会社の営業日に受付を行ないます。
換金代金 課税関係	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※各ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料

<ブラジルリアルコース>
購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内
<マネーボールファンド>
ありません。※マネーボールファンドはスイッチング以外の購入はできません。

※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますの

で、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率3.85%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算

します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.85%(税込)=38,500

円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万8,500円をお支払いいただくこととなります。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。詳しく

は、販売会社にお問い合わせください。

ありません。

※信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

換金手数料

信託財産留保額

運用管理費用

(信託報酬)

<ブラジルリアルコース>
純資産総額に対し年率1.853%(税抜1.75%)程度が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.133%(税抜1.03%)、投資対象とする投資信託証券の組入れ

に係る信託報酬率が年率0.72%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の

変更などにより変動します。

<マネーボールファンド>

ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.605%(税抜0.55%)以内

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率

0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがそ

の都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することが

できません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/
〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

【ブラジルリアルコース】

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・ 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・ 新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・ 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・ 新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・ 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・ 一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
- ・ 新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、実質的に米ドル売り、ブラジルレアル買いの為替取引を行なうため、ブラジルレアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルレアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替取引を完全に行なうことができないため、場合によってはブラジルレアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルレアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルレアルの金利差相当分の為替取引によるコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託において米ドル建て以外の債券を組入れた場合は、実質的に米ドル建てとなるよう為替取引を行なった上で、ブラジルレアルで為替取引（対米ドル）を行ないません。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

デリバティブリスク

- ・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【マネープールファンド】

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・ 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・ 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

- ・ 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・ 当資料は、投資者の皆様へ「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース／（マネープールファンド）」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。うえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○		○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

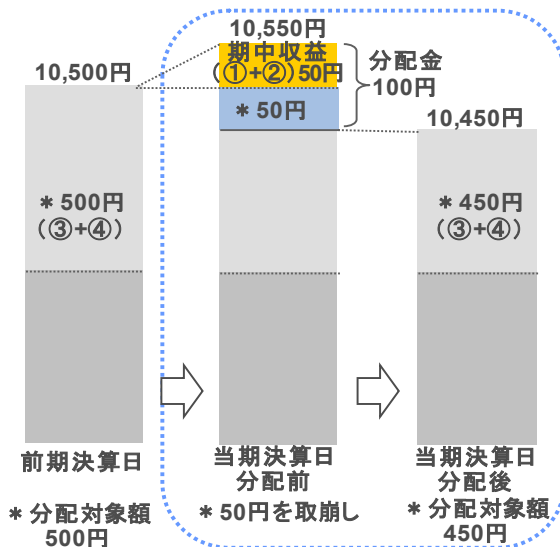
投資信託で分配金が支払われるイメージ



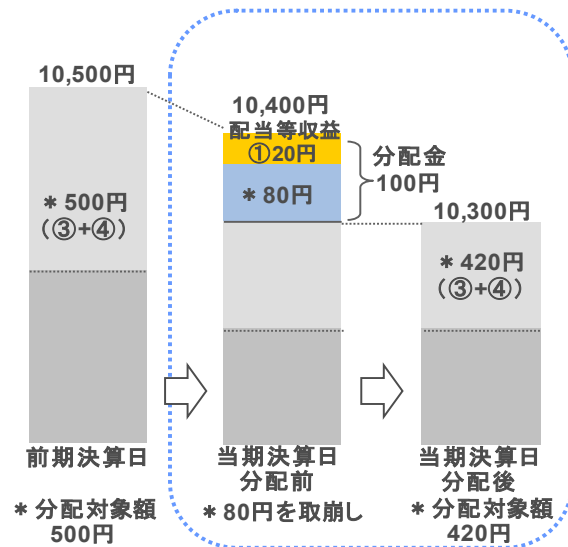
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



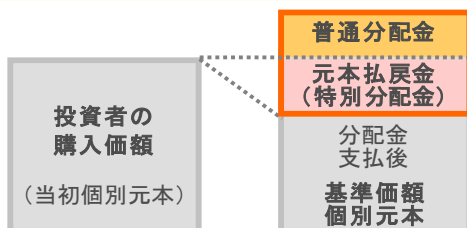
前期決算から基準価額が下落した場合



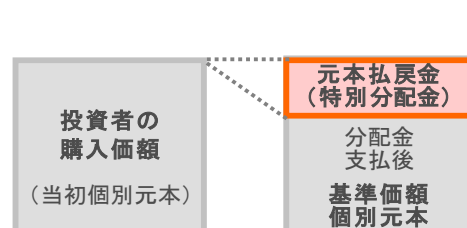
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



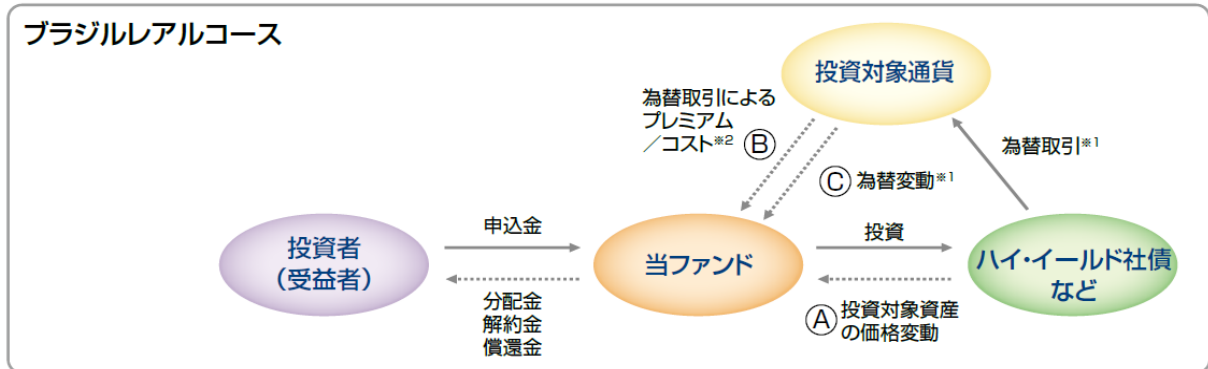
※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- **普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- **元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 ブラジルリアルと円の為替変動リスクがあります。

※2 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、後述の「投資リスク」をご覧ください。

収益の源泉		(A)	(B)	(C)
収益の源泉		債券の値上がり/値下がり	為替取引によるプレミアム/コスト	為替差益/差損
ブラジルリアルコース	収益を得られるケース	債券価格の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 投資対象通貨の金利 - 原資産通貨の加重平均金利が プラス	為替差益の発生 投資対象通貨に対して 円安
	損失やコストが発生するケース	債券価格の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生 投資対象通貨の金利 - 原資産通貨の加重平均金利が マイナス	為替差損の発生 投資対象通貨に対して 円高

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。